



2025 沖縄ろうきん 福祉金融機関の役割

ウェルビーイング

「ともにWell Being」

～ゆめへ 未来へ 私からつなぐ つながる世界へ～



ディスクロージャー誌は
こちらからご覧いただけます。

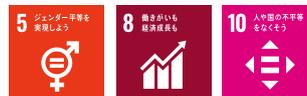


URL <https://www.okinawa-rokin.or.jp/about/disclosure/>



SDGsへの貢献と取り組み

住宅ローンにおける同性パートナーの収入合算



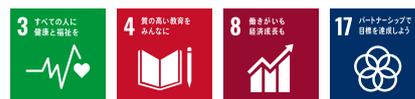
住宅ローン、マンション専用ローンについては、法的な婚姻関係にない同性パートナーの収入を合算し、融資をおこなう日までに融資対象建物への同居確認(住民票の提出(省略不可))ができる場合、かつ返済期間中に安定継続した収入があり、弁済協力が得られると判断できる場合は、連帯保証人または連帯債務者とする取り扱いを可能としています。

教育ローンにおける資金使途対象者の拡大 (法的な婚姻関係にないパートナーの実子や養子)



教育ローン、ろうきん教育ローン(カード型)については、申込受付時点で申込人と同居する法的な婚姻関係にないパートナーの養育する実子または養子の教育資金を資金使途対象としています。

福祉金融機関としての融資制度



融 資 制 度	2024年度利用状況		
	利用件数	利用金額	利用残高
◎ 技能者育成資金融資 経済的な理由により、職業能力開発総合大学校や公共職業能力開発施設の行う職業訓練を受けることが困難な訓練生のうち、能力開発施設の長から推薦のあった方に対して融資することで、訓練生の経済的な負担の軽減を図り、職業訓練の受講を支援するための制度です。2011年5月から国との提携によって取り扱いを開始しました。	15件	18,280千円	108,283千円
◎ 求職者支援資金融資 雇用保険を受給できない方で、国が実施する「求職者支援制度」に定める訓練を受講中の場合、給付金では生活費が不足する方に対して必要な資金を融資し、生活の安定をはかりながら再就職を支援する制度で、2011年10月から取り扱いを開始しました。	2件	600千円	3,565千円
◎ 福祉ローン 医療費、介護費、育児費用、育児・介護休業取得中の生活費、災害復旧に必要な資金としてご利用いただけるローンで2014年1月から取り扱いを開始しました。	27件	22,070千円	59,840千円
◎ ろうきん教育ローン奨学金借換専用「kukuru」 日本学生支援機構等の奨学金の借換を専用とした教育ローンで、2018年10月から取り扱いを開始しました。	5件	8,880千円	123,863千円
◎ 妊活サポートローン「Hug-Kumi」 「不妊治療を先送りしないため」のひとつの選択肢として、また、「不妊治療費を支払うことによる生活費への不安」に応えるため、2019年5月から取り扱いを開始しました。	13件	20,000千円	94,841千円
◎ 自然災害復旧ローン・災害救援ローン 災害発生時に事象を限定して立ち上げる融資となり、災害救援法の激甚災害の指定を要件としないローンで2019年7月から取り扱いを開始しました。	1件	1,650千円	3,996千円

※融資残高は2024年度末現在の残高を記載しています。



自然災害に係る取り組み

自然災害により被害を受けられたみなさまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。ろうきんでは、自然災害により被災された方に対して、以下の支援に取り組んでいます。

窓口での支援策

1. 融資関連の特別措置

- (1) 被災された方のろうきんとのお取引先に関するご相談につきましては、お取引先のろうきんへの取次ぎ等、丁寧に対応させていただきます。
- (2) 被災された方の早期の生活安定と災害復旧を目的として、災害救援ローン(無担保)・災害救援住宅ローン(有担保)を取り扱っています。

2. 振込手数料の免除措置

ろうきんの窓口で、会員団体等が開設した義援金振込口座へ送金する際の振込手数料を免除しています。

沖縄県北部豪雨に対する大宜味村、東村、国頭村へ義援金の寄附

2024年11月8日から沖縄県北部地域に降り続いた豪雨により被災された方への支援として、3村へ30万円ずつ義援金を寄附しました。



大宜味村



東村



国頭村



生活応援運動の取り組み

多重債務対策の取り組み

全国13のろうきんと労金協会は、2007年に「生活運動・多重債務対策本部」を設置しました。その後もろうきん業態における統一施策として、多重債務に関する啓発・救済に関する活動を継続して取り組んでいます。

当金庫においては、高金利の他社カードローンを当金庫カードローンや無担保ローンなどに借り換える取り組みを強化し、可処分所得の向上をはかっています。



金融リテラシー教育の実践

「高金利の危険性」や「身近に潜むマネートラブル」に関する情報を提供し、多重債務に陥らないために、会員職場での研修・学習会の開催、講師派遣等を通じての予防運動を進めています。

また、SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」の実現に向けて、児童・生徒・学生に対しても、金融リテラシーを身につけるための金融教育・消費者教育セミナーを実施しました。

当金庫は会員団体および学校教育機関と連携し、金融教育・消費者教育セミナー開催をとおして、福祉金融機関としての役割発揮に向けた取り組みを実施しています。



	小学校	高校	特別支援学校	会員団体	合計
実施数	1校	8校	4校	55会員	68団体
参加人数	61人	1,466人	100人	1,390人	3,017人



社会的責任と貢献活動



地域社会の活性化に関する取り組み（地域と協働した社会貢献活動等）



ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金

「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」は、沖縄県内各労働団体および会員団体のみなさまのご協力のもと創設されました。この間、「働く」につながる支援を基本方針とし、子を養育する親には就労・生活支援を、就学生には希望職種(夢)実現に向け資格取得費用等支援を行ってきました。

当金庫は、基金の安定運営を会員団体・お客さまとともに支え、「共助」の輪を広げ、働く仲間とその大切な子ども達の笑顔につなげていきます。



ゆめ・みらい基金の給付いただき、本当に感謝いたします。
私たち家族は、日々の生活に必死で周りが見えてませんでした
が、沖縄にはこんなにもたくさん企業や個人の方が
ゆめ・みらい基金という素敵な取り組みに賛同して、ご協力
頂けているのだと、今回初めて知る事が出来ました。
私たち家族の知らない所で、助けて頂いた感謝を忘れる
自立した生活を取り戻したら、私も0150ゆめ・みらい運動！
に参画していきたいです。

お礼がどうもありがとうございます。とてもうれしかったです。
支援してくれてありがとうございます。おかげで、学校に必要
な道具が揃いました。自分から言えない、お願いしてあげ
ないのは、他の奥さんより、お母さんには申し訳ないため
に基金活動ができて、うれしかったです。
★支援ありがとうございます。おかげで、制服や体着を揃えら
れたことにもおかげです。
@ろうきん様・こくみん共済様・連合沖縄様・沖縄県労
福協様や寄付をしてくださった皆様、本当にありが
とうございます。皆様のご寄付のおかげで、学校に必要
なものが買うことができました。皆様ご寄付ありがとうございました。



年末食糧・衣類配布会「年末ワクワクお福分け会」について

ひとり親、多子、単身、高齢、学生、外国人留学生など、年末食糧に困る方や年越しに不安を抱える方が、孤立せず安心して年を越せるよう、また、今後の生活や仕事についても気軽に相談できる場・窓口があることの周知も目的として、(公財)沖縄県労働者福祉基金協会(労福協)が主催する、年末食糧・衣類配布会が那覇市と沖縄市の2か所で開催されました。当金庫もその趣旨に賛同し、地域に寄り添う福祉金融機関として、食糧・衣類の提供と、当日スタッフとして多くの役職員が参加しました。

- 主催：公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会
- 共催：日本労働組合総連合会沖縄県連合会
沖縄県労働金庫
こくみん共済 coop 沖縄推進本部
沖縄県勤労者互助会
グッジョブセンターおきなわ
- 協賛：NPO法人フードバンク2h沖縄
農林中央金庫那覇支店
ヘルプオキ合同会社
一般社団法人湧川財団
全日本港湾労働組合沖縄地方本部



会員のみなさまの“想い”が詰まった寄附金を「ろうきん こくみん 共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」へ贈呈しました



県内全12地区のろうきん地区推進委員会、会員団体（労働組合、共済会等）、当金庫が三位一体となり、2024年4月から11月にかけて実施した「笑顔であいたい感謝祭2024」（以下、感謝祭という）において、感謝祭アンケートシートの提出1枚につき200円を当金庫が拠出し、「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」へ寄附金を贈呈しました。

働く仲間一人ひとりの“想い”が詰まった寄附金を、沖縄の子ども達への支援として活用いただいています。

〔寄附金額〕

寄附先	寄附金額
ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金	1,100,000円

※感謝祭参加者が10,840名でしたが、今回の取り組みでは寄附金額上限を110万円までとしていましたので、以上の寄附金額となりました。



取り組み開始からの累計実績
(2021年度～2024年度)

寄附額：4,600,000円

「生理の貧困」解消に向けた会員団体との協働取り組み



厚生労働省が2022年3月23日付で公表した調査結果では、経済的理由などで生理用品の購入・入手に苦労した経験がある女性について、18歳・19歳が年代別で最も多く、若年層で「生理の貧困」が深刻化している現状が報告されました。そのような現状において、2022年度から継続して、会員団体であり学校現場に専門性を有する沖縄県教職員組合（以下、沖教組という）と労働者福祉事業団体である公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会（以下、沖縄県労福協という）との三者協同で、生理用品の入手に困難を抱える児童・生徒へ「サニタリーショーツ」の無償配布に取り組んでいます。

一般的な生理用品（使い捨て）の配布が広がりつつある中で、「サニタリーショーツ」という選択肢を組み合わせることで、生理用品の調達頻度やそれに係る精神的負担、経済的負担の軽減につなげます。また、SDGsの観点からも使い捨て生理用品のゴミ排出削減の一助とし、環境へ配慮した取り組みにしたいと考えています。

- 【取組名称】 沖教組「サニタリーショーツ」無償配布制度
- 【取組期間】 2024年8月～2025年3月末
- 【配布対象】 主に経済的な理由で生理用品の購入が難しいと思われる児童・生徒
※対象者の判断は養護教諭、またはスクールソーシャルワーカーが行います。
- 【購入先】 イオン琉球株式会社
- 【購入商品】 「サニタリーショーツ」
- 【配布実績】 配布校 県内小中学校141校
配付枚数 小学生向け559枚/中学生向け421枚 合計980枚



2025年度については、「笑顔であいたい感謝祭2024」における「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」への寄附金から支出・購入して、協働取り組みを継続します。

取り組み開始からの累計実績
(2022年度～2024年度)

小学生向け 1,385枚
中学生向け 953枚 **配布枚数：2,338枚**

企業版ふるさと納税を活用した寄附について



企業版ふるさと納税(正式名称:地域再生応援税制)とは、国の認定を受けた地方公共団体が取り組む「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に対して、企業が寄附を通じて地域の活性化を支援する制度です。

当金庫では、自治体のSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた活動も支援したいという想いから、この制度を活用しています。地域とろうきんがともに成長していく…そんな未来に貢献する取り組みです。



宮古島市：300万円寄附
「やりがいのあるしごとをつくり安心して働けるようにする」としている「自立支援給付事業」への寄附を指定しました。



名護市：300万円寄附
「安心して働ける活力あるまちをつくる事業」への寄附を指定しました。

今後とも、当金庫は企業版ふるさと納税をはじめとした様々な取り組みを通じ、地域活性化に寄与してまいります。

2023年度	2024年度		累計
うるま市	宮古島市	名護市	
300万円	300万円	300万円	900万円

クリスマス食品提供の取り組み



物価高の影響で経済的負担が増大するなかで、子どもの生活へも影響が出ていることを受け、子どもたちが明るく笑顔でクリスマスを過ごせるように願いを込めて、ひとり親世帯等にクリスマスの食品提供を行いました。

〔提供先〕ひとり親世帯、困窮状態にある子どものいる世帯、学生など
〔提供数〕854セット 〔支援金額〕6,166,988円
〔提供した食品〕世帯等に対して当金庫で選定した3食品をセット提供しました。
※宮古地区、八重山地区は支援数を増やすため、2食品セット(アイスクリームケーキとチキン)を提供しました。

- ・ホワイトクリスマスケーキ(生クリームケーキ)
- または、チーズケーキかアイスクリームケーキ
- ・チキン
- ・パーティ寿司またはパーティーサンド

〔協力団体〕

- ・(公財) 沖縄県労働者福祉基金協会
- ・女性を元気にする会
- ・NPO法人エンカレッジ
- ・宮古島市役所 福祉部 福祉政策課
- ・(一財) 石垣市ひとり親家庭福祉会
- ・竹富町役場 福祉支援課 子育て支援係り
- ・子どもホッ！とステーション(石垣市)

取り組み開始からの累計実績 (2020年度～2024年度)

提供数：**4,538セット**
支援金額：**29,386,492円**





観光業をつつむ共助の「輪」支援策



観光業を共助の「輪」で支援したいという思いと、子ども達に「笑顔」で楽しんでほしいという思いで、当金庫会員所属企業の保育園・こども園に対し、観光バスの送迎をセットにしたアニメ上映会を本島中部、本島南部、宮古、八重山で提供しました。

支援策については、観光バスの調達に以下の当金庫会員所属企業であるバス会社を利用させていただき、子ども達へツアーを企画・提供しました。

〔協力会員所属企業および協力会員〕

- ・ 沖縄バス株式会社 (沖縄バス労働組合、沖縄バス労働組合共済事業部)
- ・ 株式会社琉球バス交通 (沖交労・琉球バス組合、沖交労琉球バス組合共済事業部)
- ・ ていーだ観光株式会社 (ていーだ観光労働組合)
- ・ 中部観光バス株式会社 (中部観光バス株式会社労働組合)
- ・ 東運輸株式会社 (東運輸労働組合)
- ・ 有限会社南ぬ島交通 (会員外企業)
- ・ 株式会社八千代バス・タクシー (会員外企業)

〔団体数〕

75団体

〔参加人数〕

2,652人

〔観光バス台数〕

74台



取り組み開始からの累計実績 (2021年度～2024年度)
参加団体数: 264団体
参加人数: 9,483名
観光バス台数: 303台

高校生・大学生に向けた地域活動・社会活動支援 ろうきん・あとっぽプロジェクト

本プロジェクトは、沖縄・地域のために何かしたい高校生・大学生の活動を応援する寄附金となっています。「社会人」より活動資金を得ることが難しい「学生」へ資金支援を行うことで、学生自身が活動を通じて得られる知識や経験の広がり、沖縄の地域活動・社会活動のさらなる活性化を期待します。

(1)対象者	沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ(2人以上)であること。
(2)寄附額	総額100万円、1グループ上限10万円
(3)寄附先について	12グループに寄附決定(高校生:6校6グループ、大学生:5校6グループ)



美里工業高校「美工電気ものづくりチャレンジ」
3Dプリンターやロボットの基盤を購入し、ロボット相撲全国大会に出場し、好成績を収めた。



沖縄キリスト教学院大学「Ladybird」
生理について話せる社会を目指し、小中学校で出前授業や学内イベントを開催。

	寄附額	寄附先
2023年度	100万円	12グループ
2024年度	100万円	12グループ
累計	200万円	24グループ

地域社会の活性化に関する取り組み（地域と協働した社会貢献活動等）

ろうきん・わしたシマづくり運動(自動機利用による取り組み)

2014年10月、自動機によるお取引に応じた寄附金を積み立て、地域で活動する団体に寄附することによりその活動を支援する「ろうきん・わしたシマづくり運動」を創設し、会員団体・ご利用者と当金庫が三位一体となった社会貢献活動に取り組んでいます。2024年度は23団体へ総額150万円を寄附しました。



創設からの累計実績
(2014年度～2024年度)

寄附先団体数：**70団体**
寄附金額：**13,159,497円**

2024年度
新規寄附先団体

	団体名	所在地
1	特定非営利活動法人 沖縄災害救助犬協会	うるま市
2	ぬちぐすいクラブ	石垣市
3	一般社団法人じのん子どもの家	宜野湾市
4	伊是名村民生委員児童委員協議会	伊是名村
5	ちゃんぶる～5感クラブ	八重瀬町
6	一般社団法人 琉球スポーツサポート	浦添市
7	一般社団法人 富山型デイサービス まんまる	宮古島市
8	認定NPO法人日本クリニックラウン協会	那覇市



地区推進委員会のイベント

各会員団体・構成員のみならず、各各地区推進委員会は、暮らしに関するセミナーや学習会、スポーツ交流、社会貢献活動を主催しながら、地域や会員相互間にも「共感の輪」を広げています。



セミナー・学習会



北部地区推進委員会／
金融リテラシーセミナー

近年増加している「特殊詐欺」について学習しました。



おもろまち地区推進委員会／
退職後の基礎知識セミナー

50代を中心に、退職後の働き方や医療保険等について学習しました。



浦添地区・普天間地区推進委員会／
資産形成セミナー

浦添地区・普天間地区合同での学習会を実施しました。

スポーツ交流



本店地区推進委員会／
会員交流チャリティーボウリング大会

会員同士の交流とチャリティーによる寄附を実施しました。



八重山地区推進委員会／
会員交流モルック大会

年齢・性別に関係なく、競技を楽しみました。



県庁地区推進委員会／
県庁スーパー駅伝

ろうきんも協賛し、駅伝に参加しました。

社会貢献活動



具志川地区推進委員会／
ろうきん文庫贈呈

地区内の小学校へ図書を贈呈しました。



与那原地区推進委員会／
ランドセル・かりゆしウェアの贈呈

ランドセルやかりゆしウェアを与那原地区内の社協へ贈呈しました。



宮古地区推進委員会／
おもちゃ図書館への贈呈

おもちゃ図書館の創設に協力し、おもちゃ・絵本等を贈呈しました。